



2017年 基幹理工 · 創造理工 · 先進理工 第 5 問

5 3次の整式  $f(x)=x^3+x^2+px+q$  (ただし, $p\neq q,\ q\neq 0$ ),および  $g(x)=\frac{-1}{r+1}$  が次の条件 (\*) をみたすとする.

(\*) f(x) = 0 の任意の解  $\alpha$  に対して  $g(\alpha)$  も f(x) = 0 の解である.

次の問に答えよ.

- (1) p, qの値を求めよ.
- (2) f(x) = 0は -2 < x < 2の範囲に 3つの実数解をもつことを示せ.
- (3) f(x) = 0 の任意の解を  $2\cos\theta$  とするとき、 $2\cos 2\theta$ 、 $2\cos 3\theta$  も解であることを示せ.
- (4)  $2\cos\theta$  ( $0 < \theta < \pi$ )が f(x) = 0の解であるとき、 $\theta$ の値を求めよ.